

## 河川管理における住民と行政とのかかわり方に関する調査研究 かわまちづくり支援制度を利用した河川事業を対象として

### Research on how involvement with the government and residents in river management As the target river business using Kawa-machi planning support system

○海野智洋<sup>1</sup>, 畔柳昭雄<sup>2</sup>, 坪井塑太郎<sup>3</sup>

\* Tomohiro Umino<sup>1</sup>, Akio Kuroyanagi<sup>2</sup>, Sotaro Tsuboi<sup>3</sup>

**Abstract:** In this study, it is an object of the present invention to a subject a river improvement project using Kawa-machi planning support system, and to understand the relationship between municipalities and residents, the river administrator, to consider the way to the river management. Therefore, Expand the river improvement project using Kawa-machi planning support system, we conducted a hearing survey of Chiba Prefecture Katori and Shizuoka Aoi-ku, the civil society organizations are participating in river management. As a result, from the fact that civil society is performing the management and operation of Mizubenogakkou that was developed by the government, I made it clear that the cooperation framework with the government and residents concerned with Kawa-machi planning support system has been built .

#### 1. はじめに

戦後から高度経済成長期にかけて行われた河川整備において、機能や生活、文化など、かつて人々が有していた河川との多層的な関わりが失われるに至っている。そこで、治水・利水を最大の目的とした機能主義的な整備を見直し、1980年代には河川と沿川空間、周辺地域を一体的に捉え直す機会として「ふるさとの川モデル事業」が始まり、1997年の河川法改正以降、市民団体による保全活動や河川管理者に対する整備提案などが積極的に行われ、河川や水辺の整備・利活用により、まちと水辺が融合した良好な空間を形成してより良いまちづくりや地域活性化を目指す“かわまちづくり”が各自治体により進められた。その後ふるさとの川整備事業や他事業との統合を経て、平成21年度には「かわまちづくり支援制度」として河川整備がまちづくりの核に位置づけられるなど、事業面において活発な動きが繰り広げられている。しかし、従来の制度と比べて市町村と河川管理者との連携は強化されたものの、行政と市民との連携については制度の支援内容に含まれていないのが現状である。

研究面では、市民参加による河川管理の取り組みに着目した既往研究は比較的多く、河川における市民参加や市民活動における効果に関する研究、柿田川における市民参加による河川管理の取り組みに関する研究、周辺地域とのかかわりに着目した水辺整備に関する研究などがある。しかし市民参加による河川管理は、各々特異性があるため、他の地域への転用活用がしにくい状況である。しかし、今後の河川管理の在り方を考

していくためには、市民参加の河川管理の資料の蓄積が必要であると考えられる。

そこで本研究では、かわまちづくり支援制度を利用した河川整備事業を対象に、住民と市町村、河川管理者の関係性を把握し、河川管理に対するあり方を検討することを目的とする。

#### 2. 調査概要

本研究では、かわまちづくり支援制度に登録されている河川事業のうち、静岡県静岡市葵区牛妻地区を対象とした牛妻地区かわまちづくり、千葉県香取市佐原地区を対象とした佐原地区かわまちづくりの2事業を選定した。調査対象地としての牛妻地区と佐原地区の位置を **Figure1**, **Figure2** に示す。牛妻地区を流れる安倍川は全長51km、流域面積567km<sup>2</sup>の1級河川で静岡県と山梨県の県境にある大谷嶺を水源とし静岡市市街地を流れ駿河湾に注ぎ、伏流水は静岡市の水道水として使われる。対象地区の牛妻地区には水辺の楽校が整備されている。佐原地区を流れる小野川は全長5.8km流域面積36km<sup>2</sup>の利根川水系利根川の支流で1級河川である。たびたび冠水被害をもたらしたことから小野川放水路が掘られている。対象地区の佐原地区は川沿いに伝統的建築物が多数残っており、重要伝統建築物群保存地区として選定されている。香取市では地域防災ステーション、道の駅、川の駅の機能を持つ水の郷さわらが国土交通省と香取市によって、佐原広域交流拠点PFI事業として整備されている。調査方法は、文献調査とヒアリング調査を行った。なお、調査期間や調査対象に関する概要を **Table1** に示す。

1 : 日大理工・学部・海建 Nihon Univ. 2 : 日大理工・教員・海建 Prof, CST, Nihon Univ, Dr. Eng

3 : 日大理工・教員・海建 Associate Prof , CST , Nihon Univ, Ph. D

### 3. 結果および考察

安倍川においてはうしづま水辺の楽校世話人会（以下：世話人会）、しずおか流域ネットワーク（以下：流域ネットワーク）の 2 団体の活動が確認できた。世話人は地元住民のボランティア団体で、国土交通省により整備されたうしづま水辺の楽校の管理、運営を行っている。流域ネットワークにおいては、川のインストラクターの養成や、小中学生とその保護者を対象に安倍川流域において、リバートレッキングや流域地区の体験学習などを一年を通して行っていることがわかった。静岡市役所では整備されている水辺の楽校を、小中学校の学習活動に取り入れるためのアプローチが近隣の小中学校に向けて行われていることがわかった。河川流域においては地域住民が自主的に安倍川の環境保全活動を実施していることがわかった。

佐原地区においては NPO 法人小野川と佐原の町並みを考える会（以下：町並みを考える会）の活動が確認できた。町並みを考える会では小野川の清掃活動、観光客へのボランティアガイド、町並みの保存など多岐にわたる活動が、河川流域の住民とともに行われていることがわかった。

こうした各団体の活動内容を整理したものを **Table2** に示す。これを見ると静岡市においては、水辺の楽校などの河川を通じた環境学習の機会が小中学校時代に多いということがわかった。また団体別に見てみると、環境保全活動を行っているのは地域住民だけなのに対して、行政や市民団体は教育や整備など積極的な河川空間の利用に主眼を置いて活動を行っていることから、地域住民と行政や市民団体とで活動の差異があることがわかった。

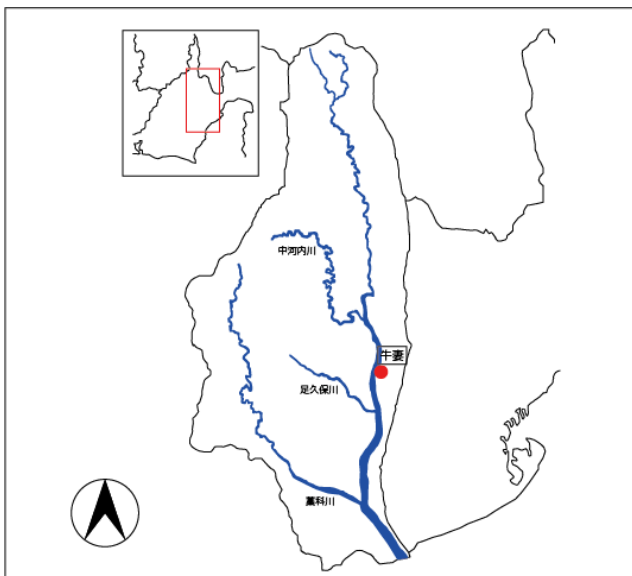


Figure1. Ushizuma district surveyed area Overview

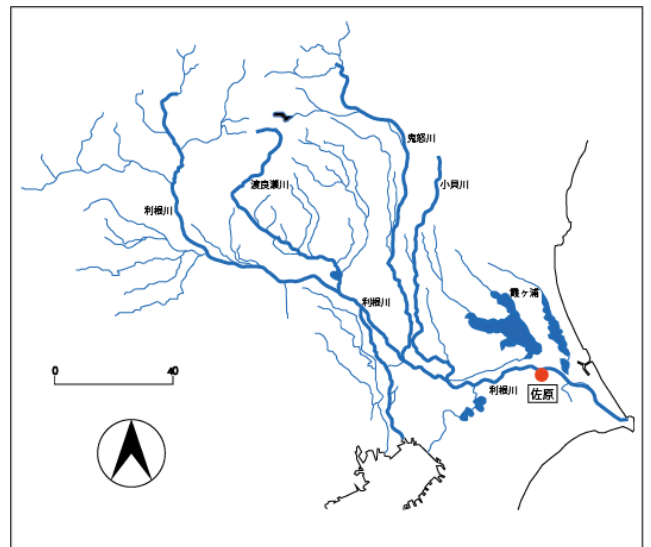


Figure2. Sahara district surveyed area Overview

Table1. Outline of the Study

調査対象地	安倍川(静岡県静岡市葵区牛妻地区) 小野川(千葉県香取市佐原地区)
調査期間	2014年9月2日～9月28日
調査方法	文献調査、ヒアリング調査
調査対象	静岡市役所河川課
	うしづま水辺の楽校世話人会
	しずおか流域ネットワーク
	香取市役所 小野川と佐原の町並みを考える会

Table2. Efforts of various organizations

団体名称	活動内容	項目
国土交通省	水辺の楽校の整備	整備
静岡市	河川での環境学習の推進	教育
地域住民	河川清掃	環境保全
うしづま水辺の楽校世話人会	水辺の楽校の管理	整備
	水辺の楽校の運営	教育
静岡流域ネットワーク	川のインストラクター養成	醸成
	みずがき倶楽部	教育

### 4. おわりに

本稿では、かわまちづくり支援制度を利用した河川事業において、市民参加による河川管理を実施する団体の活動内容から河川管理に対する影響効果を考えた。

その結果、行政・市民団体と地域住民では活動の主眼において差異がみられた。また水辺の楽校の担い手が市民団体になっていることから、行政と市民との間に連携があったことがわかった。今後はそれらについて詳細な調査が必要であると考えられる。

### 5. 参考文献

- [1] 弓削龍, 畔柳昭雄: 柿田川における市民参加による河川管理の取り組みに関する調査研究: 環境情報科学論文集, No24, pp.105-108, 2010
- [2] 財団法人リバーフロント整備センター: ふるさとの川をつくり育てる, 大成出版社, 2000